



SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

Mar.2023

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

ユーロは2035年に全車EVへのシフトを標榜したが、露助侵略戦争によりエネルギー事情が急変、ここに来て独と伊が離反の姿勢を見せ始めている。欧州EV化の前提が露のエネルギーであるとすれば、もはや政策を変えざるを得ないだろう。一方、我が国はどうか。

トヨタは社長交代によりXEV化に邁進するというが、よく聴けばFCVも捨ててはいない。ここは資源国に左右されるEVではなく、水素エネルギーに注力してもらいたい。どうせ我が国はガラパゴス化しているのであれば、開き直り、経産省も腹をくくり、水素国家を樹立、日独伊水素三国同盟で世界を牽引すべきであろう。

サンシングループ代表取締役社長
博士（経営学） 石井宏宗

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

2021年のG7サミットで30by30という目標が示されました（今年のG7議長国は日本、サミットは広島で予定）。2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。長期的な取組は一朝一夕に成るものではありませんので、まさに今から取組まねばなりません。私も環境への意識向上と出来ることから取組みたいと思います。（Y.Y.）

SANSHIN Hong Kong

There are many beautiful country parks in Hong Kong. During the epidemic, many people could not travel, so they went to suburbs which also caused a lot of garbage in the country parks, I hope everyone can be themselves well and take away their own garbage that Hong Kong has a beautiful & clean suburb again. (C.Y.)

CSI

セブは今も建設ラッシュで都市計画が行われています。ニューブリッジに隣接する道路拡張工事がコロナの影響でストップしてましたが、再開されています。右折左折直進各2車線ほどの拡張工事が行われました、渋滞が解消されていると感じています。（K.S.）

SANSHINWest

暖かくなり花粉が多く飛ぶようになりました。ほとんどの地域で去年よりも飛散量が多くなるようです。地球温暖化によって植物の生育期が長くなることで花粉量も増えるらしく、温暖化対策をすることで花粉量を抑える行動にも繋がっていると思うとより一層頑張れます。（Y.S.）

SHINKOWA

今年は去年より花粉が多く、更に晴れおよび強風の日により花粉が舞うため、都内では花粉症の人を多くみられました。しかし、八街では花粉より畑の砂が舞い「ヤチボコリ」となるため、鼻・目・耳に砂が入り、花粉症どころではありませんでした。ヤチボコリがひどいときには砂により目の前が見えませんでした。皆さんも八街にいらっしゃった時は、日本とは思えない光景を観に来てはいかがでしょうか。（H.K.）

SC2

平成25年にさいたま市大気汚染常時監視測定局で開催された「あおぞら測定体験教室」からの抜粋です。身近な製品のVOCは、油性マジック（太）224ppm/柔軟剤642ppm。ちなみにシンナーは384ppmだったそうです。10年前の測定値なので、最近の柔軟剤や抗菌洗剤はもっとすごいでしょうね。（M.I.）

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

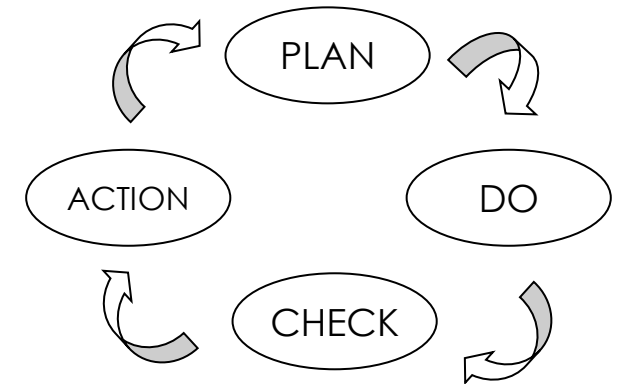
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



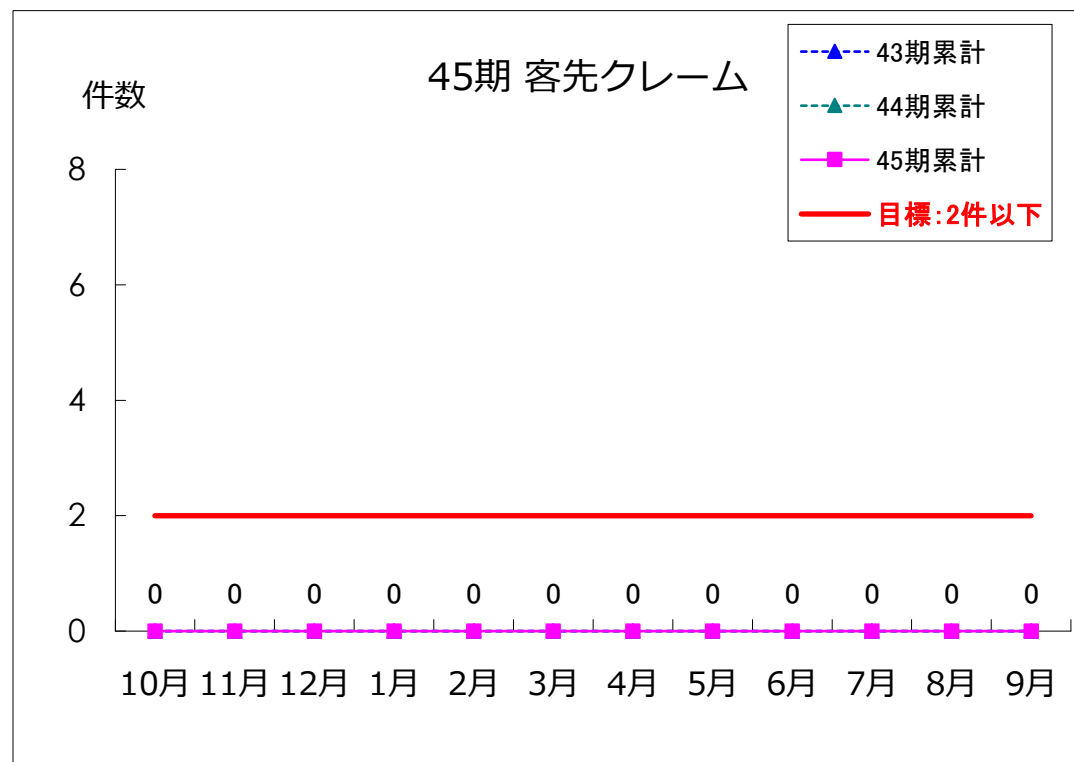
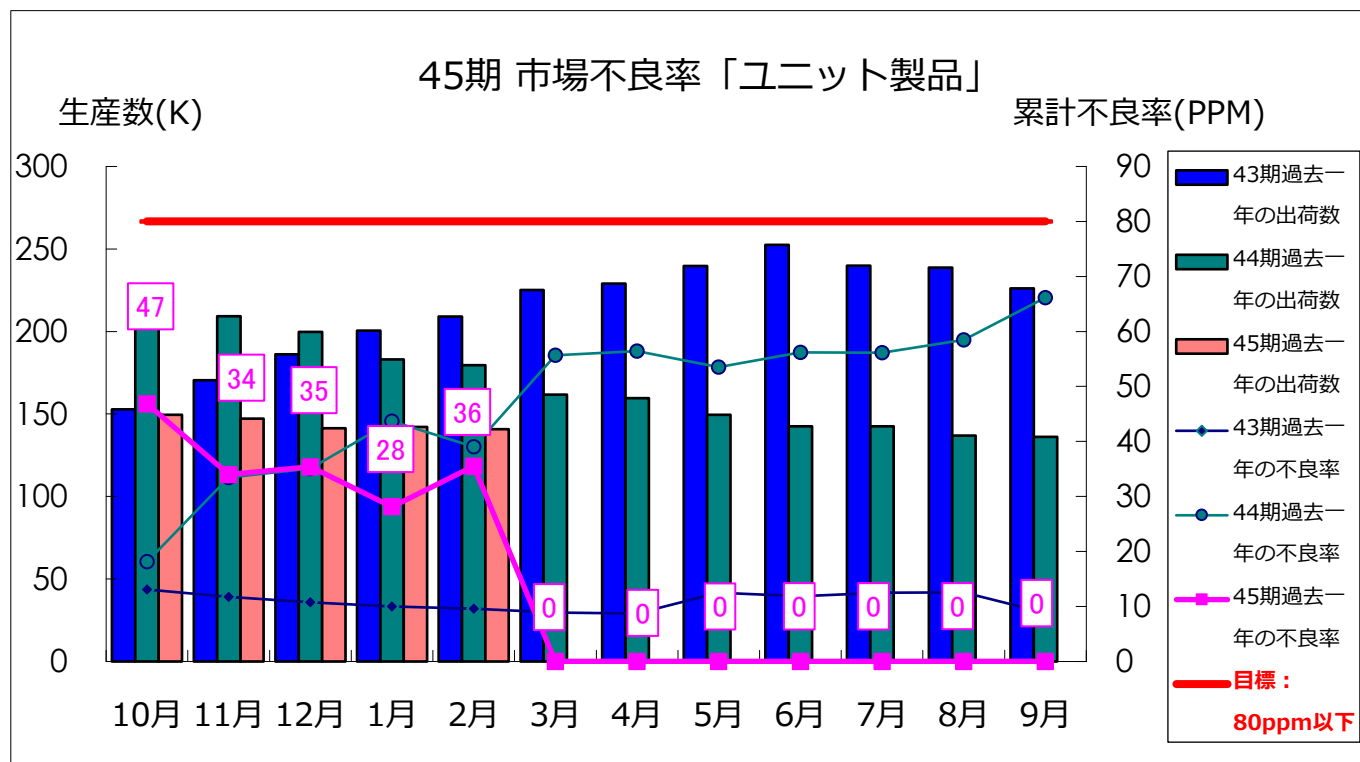
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入品不良率 (目標 : 80ppm)
 45期の累計不良率(解析依頼含む) : 36ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

■ バットに使われる木材って？

日本の3大会ぶり3度目の優勝で幕を閉じた「2023 WORLD BASEBALL CLASSIC™」（以下WBC）。熱戦に次ぐ熱戦で大きな盛り上がりを見せました。テレビ観戦した方も多かったと思います。あるいは現地で観戦された方もいらっしゃるかもしれません。そんなWBCですが、今回は野球で使われる木製バットについてのお話です。

☑ 木製バットに使用される素材の材質

木製バットに使用される木材について皆さんはご存知でしょうか。時速100km/hを超える硬球を打ち返すバットは、なんととってもその硬さが重要となってきます。

プロ野球や大学野球で使われる木製バットですが、使われる木材で代表的なものは次の4つです。

- ・アオダモ
- ・バーチ
- ・メイプル
- ・ホワイトアッシュ

素材によって異なるしなりや堅さなどの特徴は、ボールの飛び方や打ち方にも影響を与えます。

今月のTOPICS

☑ アオダモ

アオダモは、堅さ・丈夫さ・粘性・弾力性の全てに優れている「バット材の王様」です。なかでも、北海道太平洋側の厳しい寒さの中で育った材は、良質とされていました。

しかし、無計画な伐採などが原因で、現在の流通量は激減しています。

そのため北海道産アオダモのバットは希少価値も価格も高く、使えるのは一流選手に限られるでしょう。よくしなるため、ボールとバットが接する時間が長く「運ぶような打感」が味わえるとされています。

☑ バーチ

バーチは、比較的最近バットに使われ始めた材です。アオダモに比べるとしなりが少なくやや堅いため、ボールを「運ぶ」よりも「はじき返す」打感になるとされます。

大谷翔平選手が、アオダモからバーチ素材のバットに切り替えたことでも注目されました。

まだ製造しているメーカーが少ないですが、反りなどの狂いが少ない堅さ、十分な粘りや強度はバット材として優れており、これから普及していくことが予想されます。

今月のTOPICS

☑ メイプル

メイプルはバット材として広く使われており、野球の本場、アメリカでも人気です。カナダ産が有名ですが、近年はロシア産も出回っています。バーチよりも更に硬く、しなりが少ないため、硬い打感を特徴とします。

硬さを活かして、ボールを弾いて飛ばしたい選手に向いています。軽くて折れにくい材質で、耐久性にも優れています。

弱点は、芯を外すと強い振動が響いて手が痺れやすいことがあるようです。

☑ ホワイトアッシュ

ホワイトアッシュは、タモの仲間で、北米に広く生息している木で、硬く折れやすい特徴があります。アオダモと比べるとしなりに欠けますが、反発力があるので強く速いボールを打つのに向いています。

また、多くのメジャーリーガーがホワイトアッシュのバットを使うのは、気候に理由があると言われています。

これは、アメリカの乾燥した気候では、粘性のあるアオダモよりも、乾燥したホワイトアッシュの方が威力を発揮しやすいと考えられているためです。

今月のTOPICS

☑ 折れた木製バットの使い道

野球界ではプロ・アマチュアを合わせて、輸入材も含めると年間20万本以上のバットが使われています。そのうち、折れたり破損したりして役目を終える年間数万本のバットは、以前は焼却処分されていました。

アオダモの計画的伐採と育成活動を行っているNPO法人「アオダモ資源育成の会」は、それらのバットを一括収集し、福井県の木製加工のメーカー「兵左衛門」にて、バット以外の木工製品に加工・販売しています。

・ 箸

回収された折れた木製バットは、職人の手によって箸に生まれ変わります。堅さとしなやかさを併せ持つ木製バットの材質は、箸にも最適なのです。プロ野球各球団のロゴやペットマークを入れたものから、女性向けのデザイン、子供サイズ、サッカーバージョンまで、幅広く展開しています。折れたバットを再生させていることから、ゲン担ぎとして野球ファン以外からも人気があります。

・ ボールペン

折れた木製バットは、箸のほかに、ボールペンにも再生されます。プロ野球球団のロゴ入り以外に、名入れにも対応しているので、記念品やギフト、オリジナル商品の制作にも最適です。折れたバットをリユースした商品の売り上げの一部は、アオダモの育成に使われています。バットの材料になるまでに70年以上かかり、現在資源量が不足しているアオダモを、再び未来のバットにするための地道な活動です。

木製バットの材料には、希少なアオダモ、主流のホワイトアッシュとメイプル、新顔のバーチがあります。天然素材のため、バット材は無尽蔵な資源ではありません。その計画的な伐採・育成も、軽視できない課題です。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



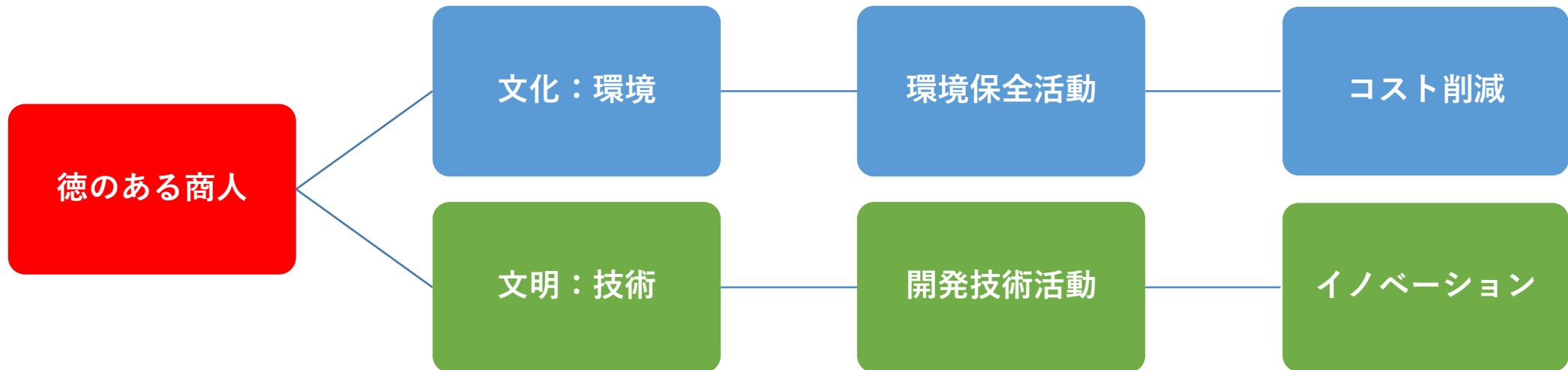
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

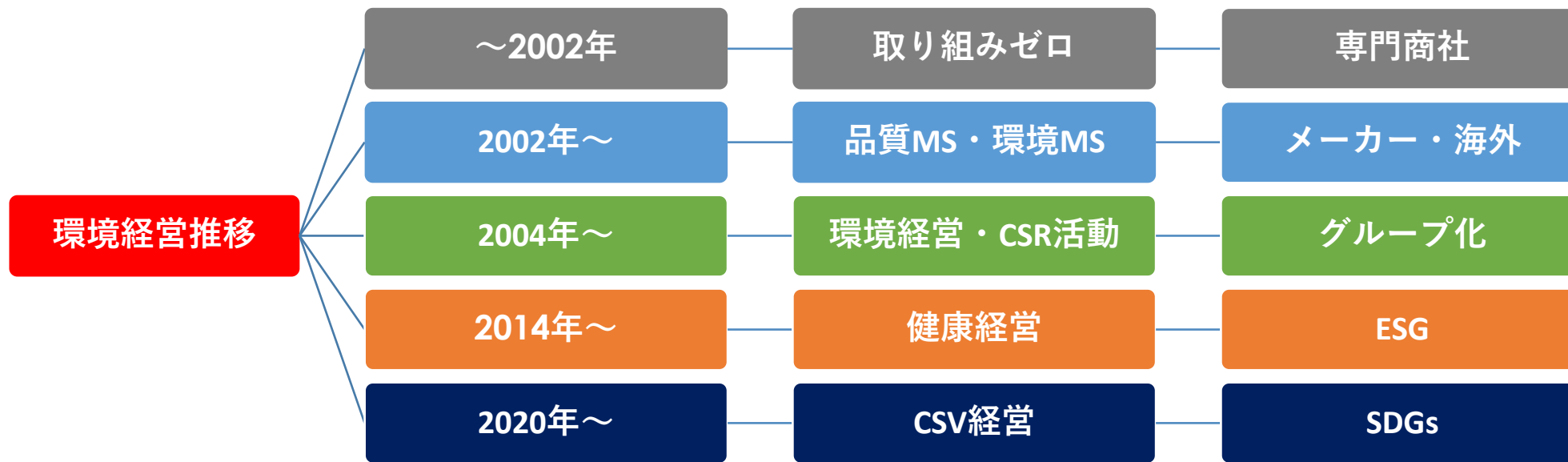
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の**文化・文明**発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

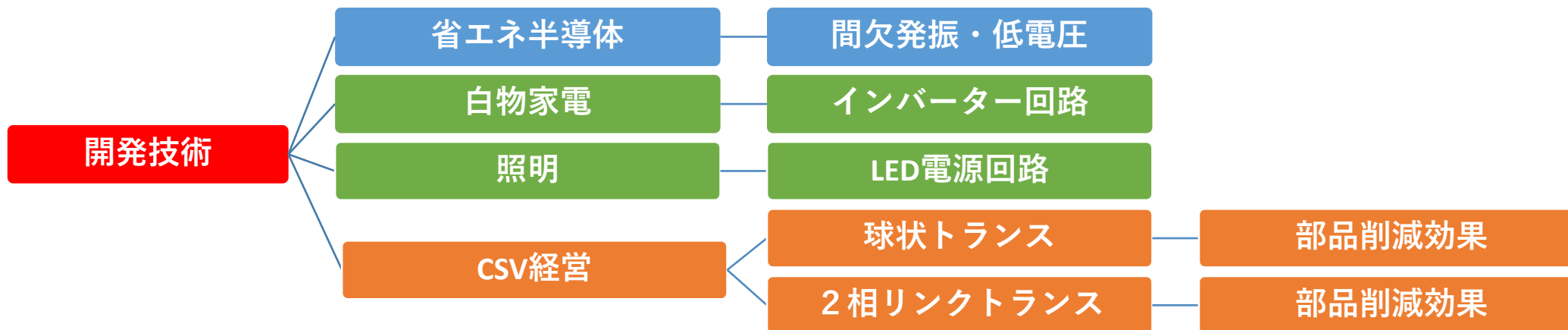
3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
 - **テレワーク**による電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒ **グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！**

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！



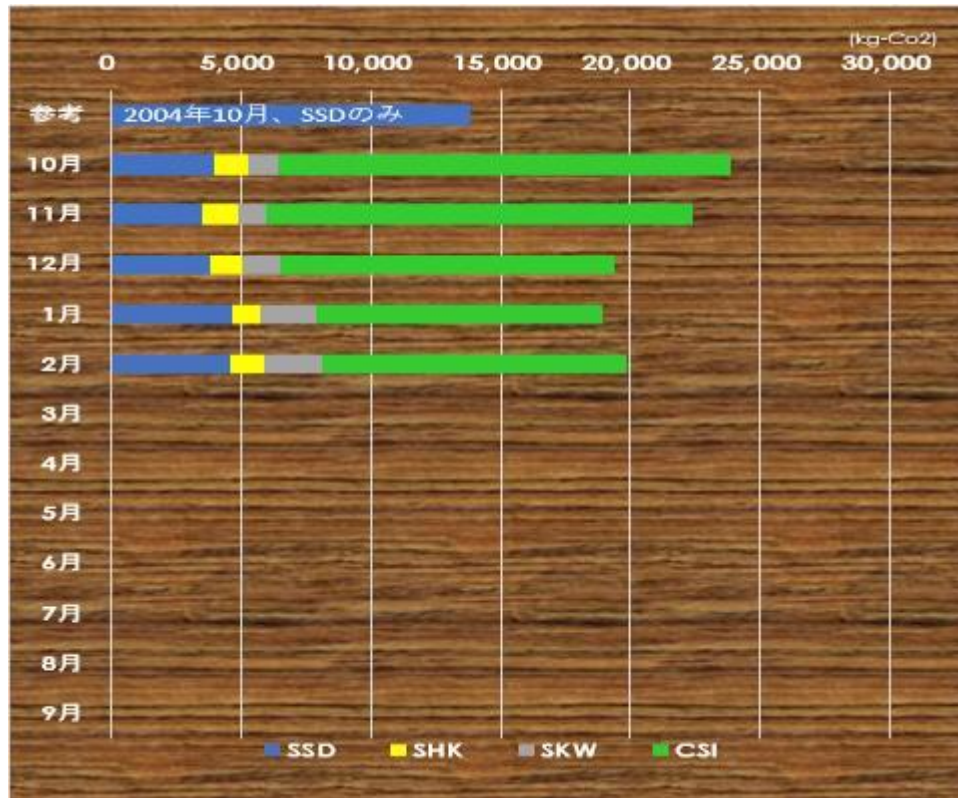
活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

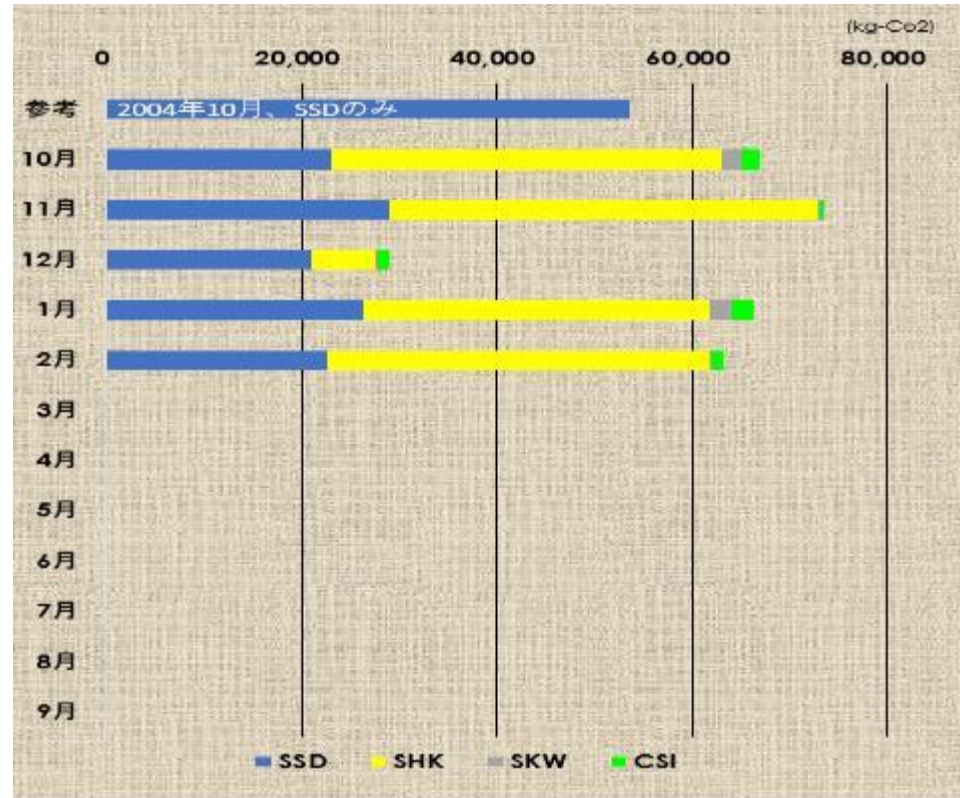
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

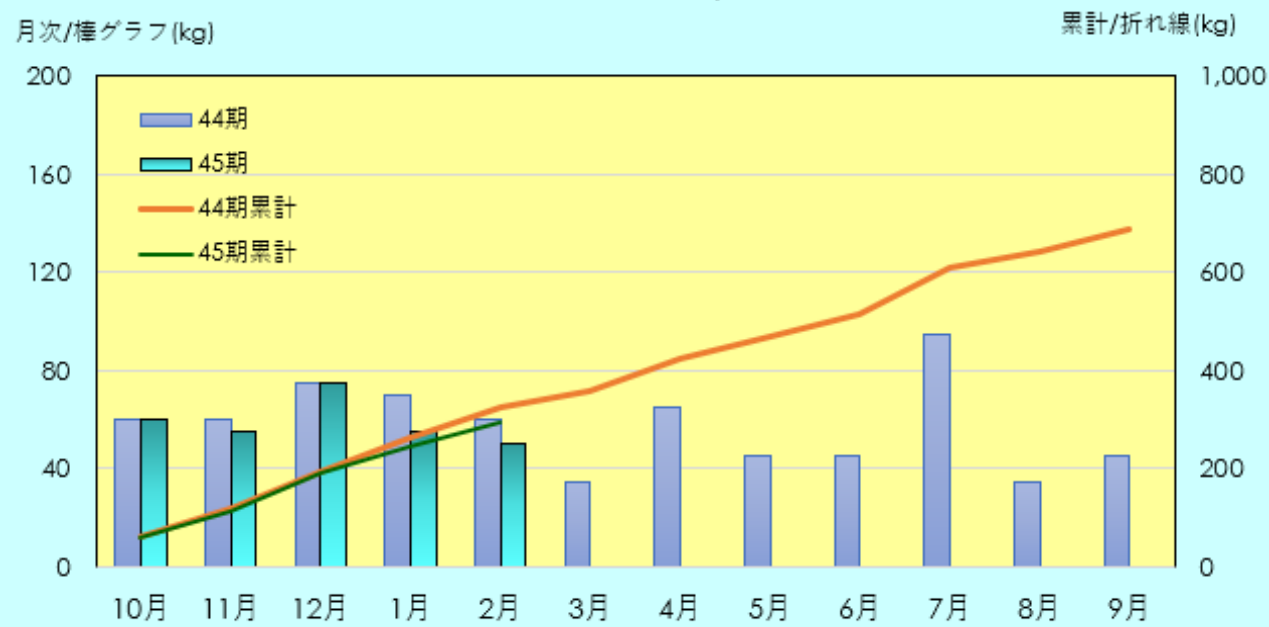
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）



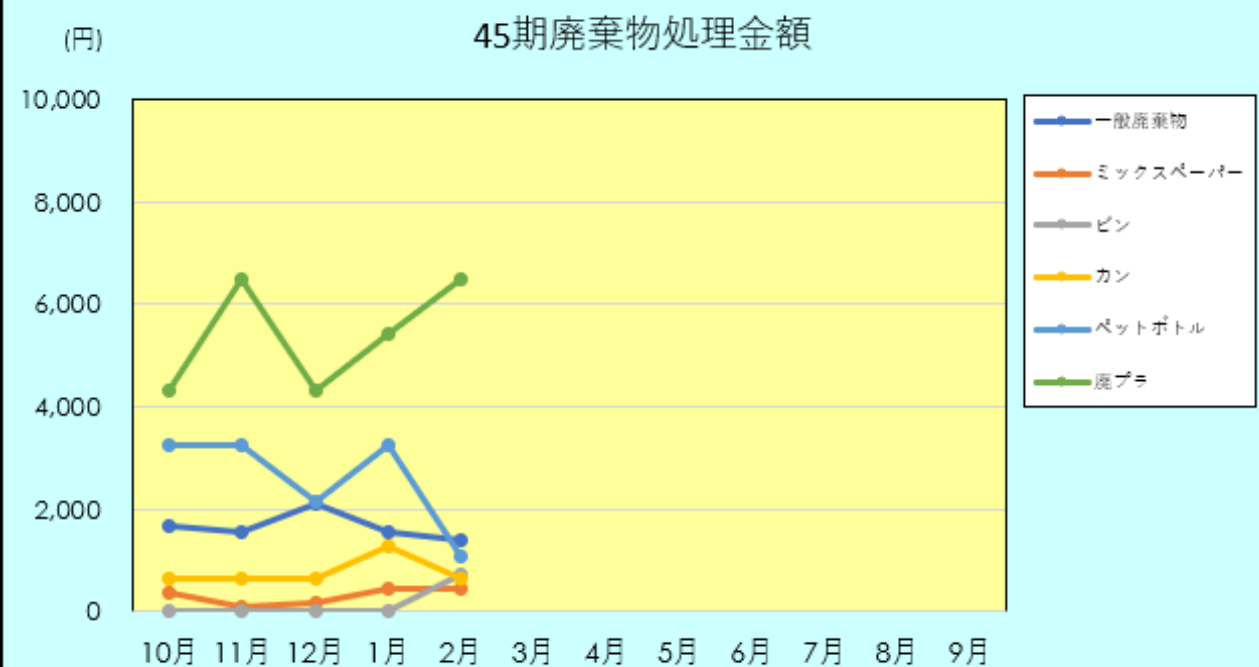
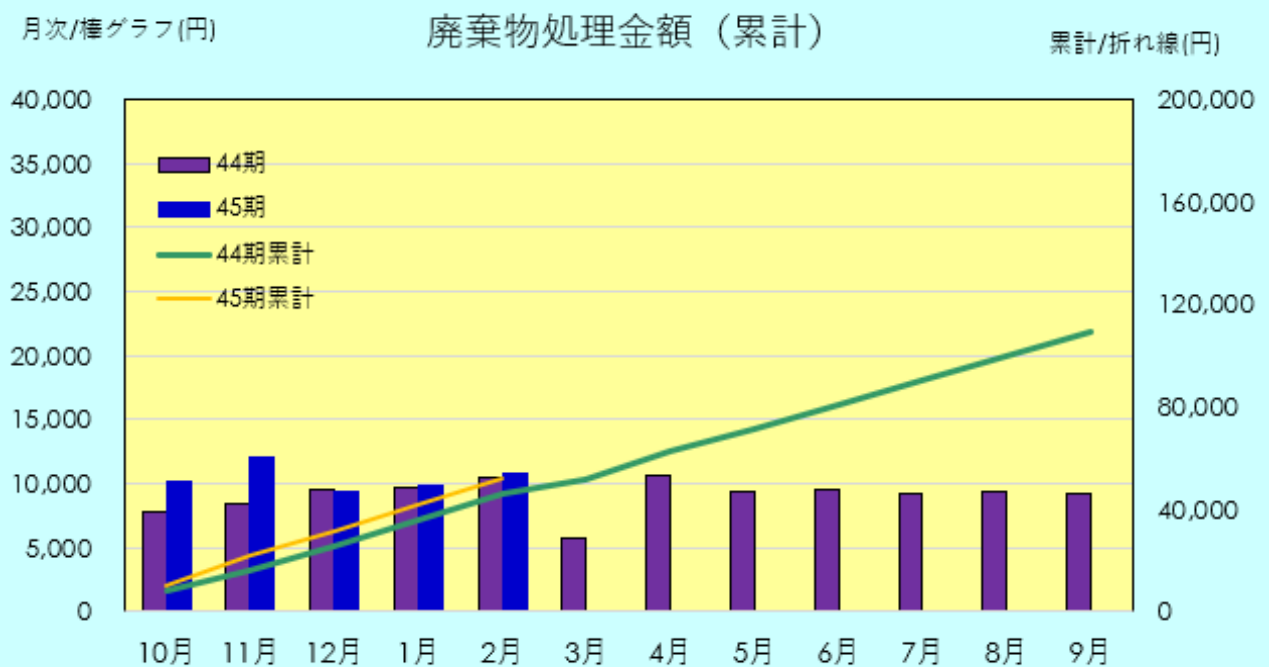
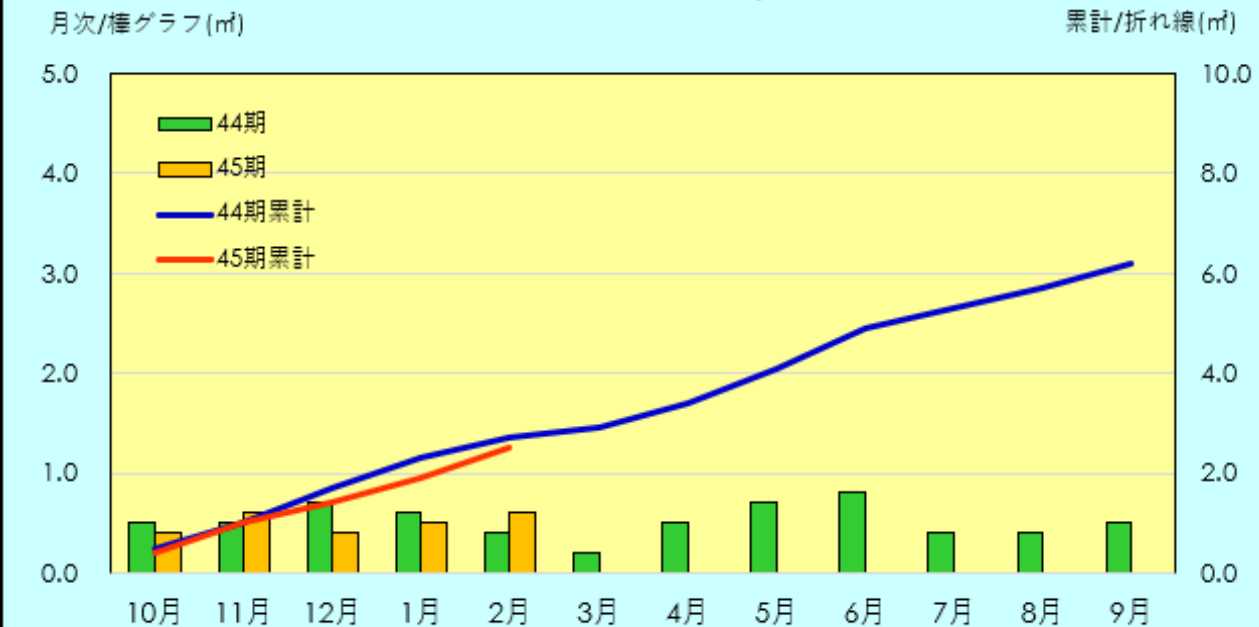
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



一般廃棄物 (SSD/本社)



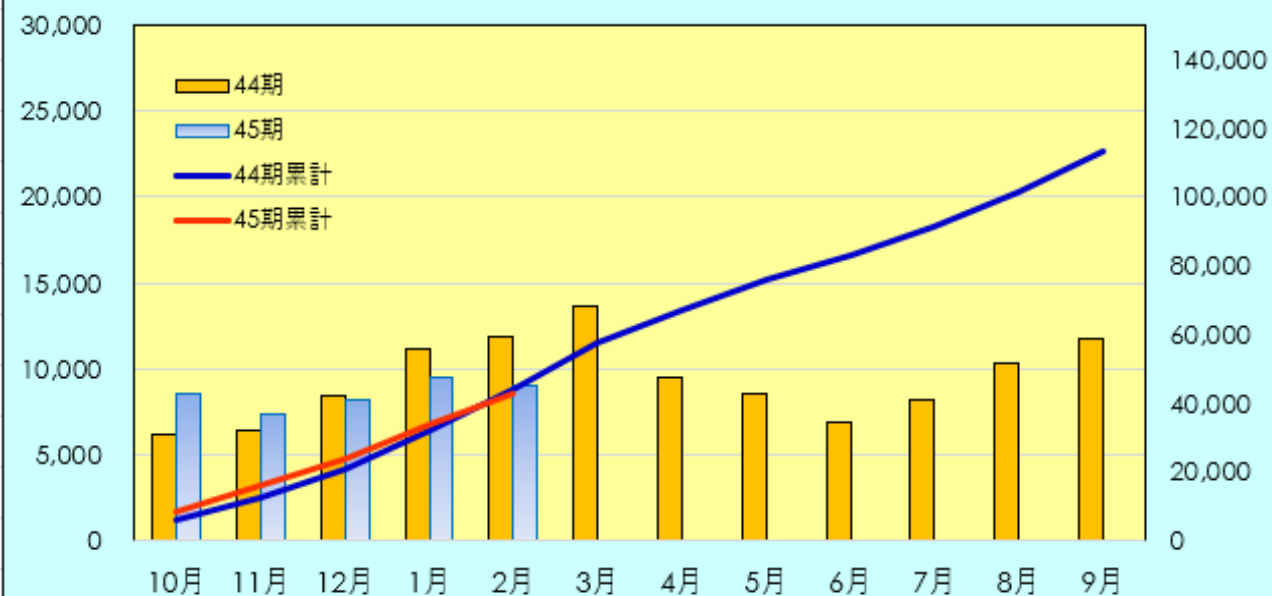
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

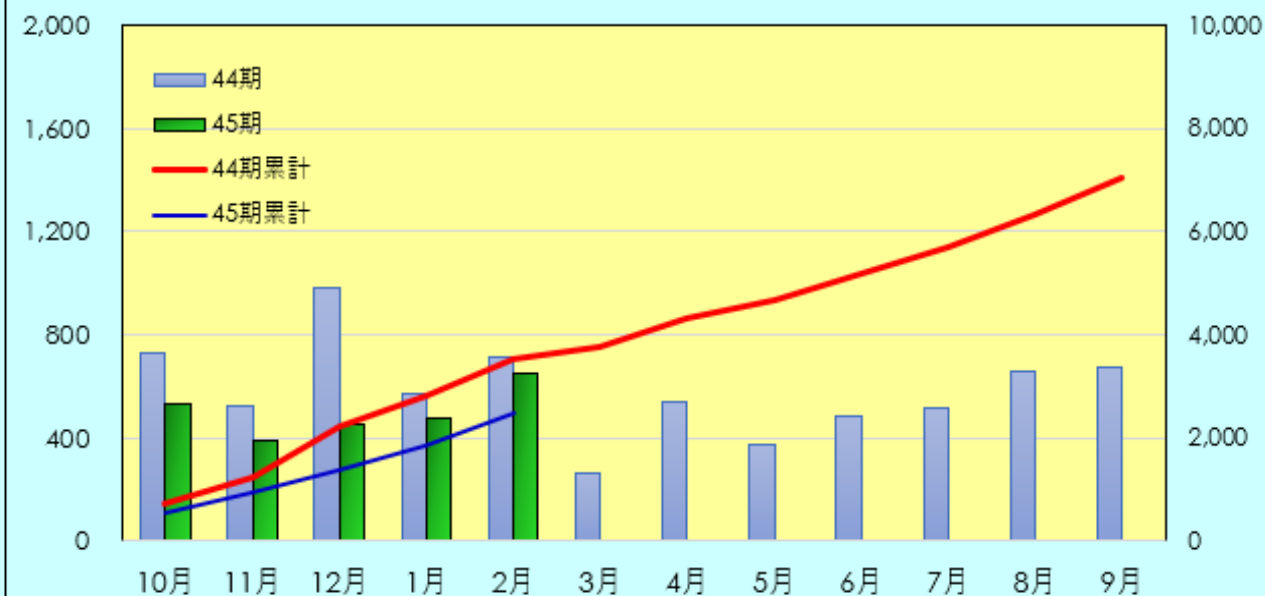
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

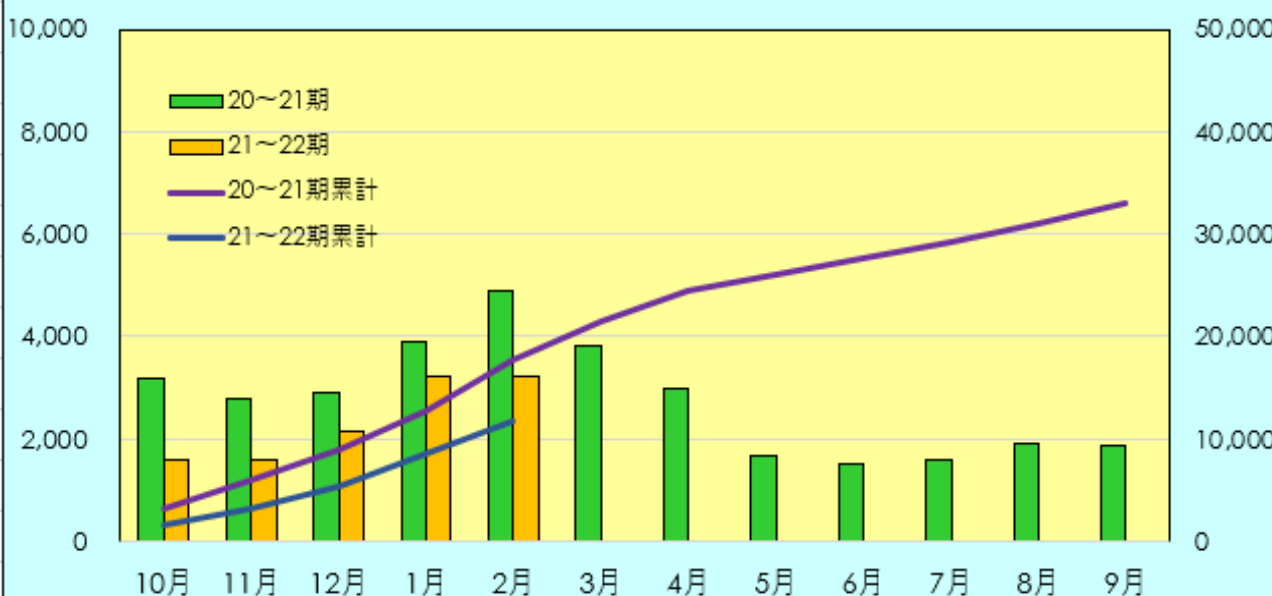
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

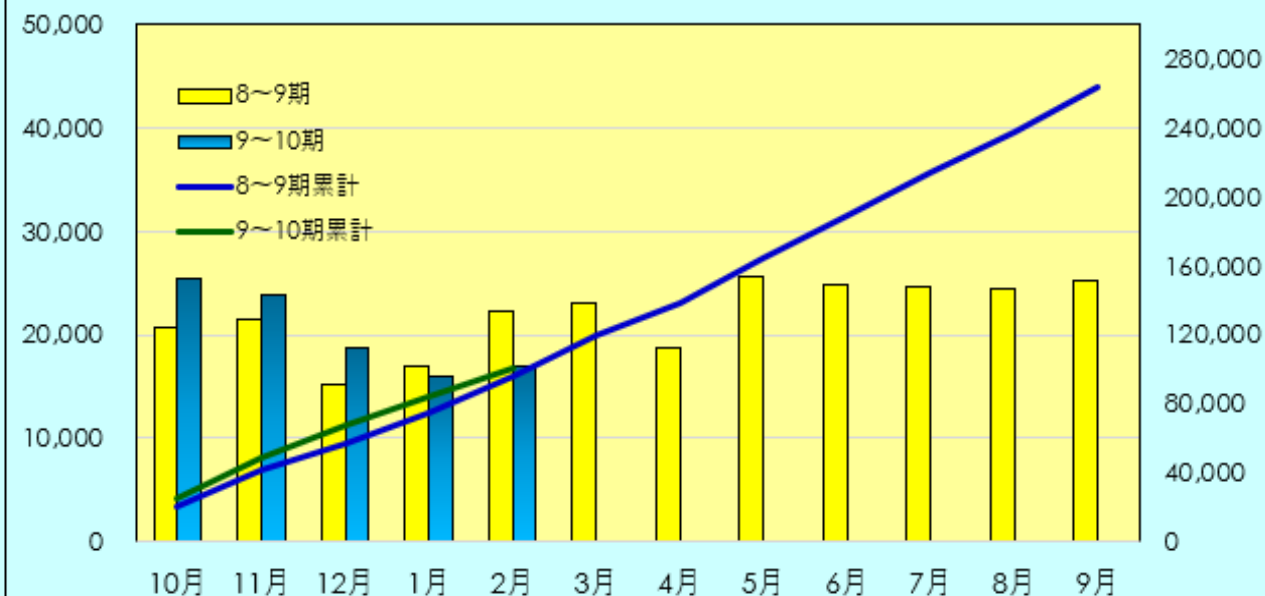
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

たばこの健康影響を知ろう！～若者への健康影響について～

今月はたばこの健康影響、特に若者への健康影響についてのコラムです。

たばこが未成年者にあたえる影響は深刻です。

未成年者が喫煙を始めるきっかけは、「好奇心から」「なんとなく」「友達から勧められて」などで、たばこの健康にもたらす影響や依存性を十分知らないうちに吸い始めています。

しかし、早いうちから喫煙を開始すると、たばこによる病気で死亡する危険性がより一層高くなったり、喫煙が習慣になりやすいなど、その健康に対する影響は大人以上に重大です。

親がタバコを吸う家庭では、子供も喫煙するようになる確率が増えると言われてしています。

家族のためにも「卒煙」をして、家庭内の悪循環を断ち切りましょう！

サンシングループは社員とそこそご家族の健康と幸せのために、健康経営・健康づくりへの取組みを積極的に進めて参ります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

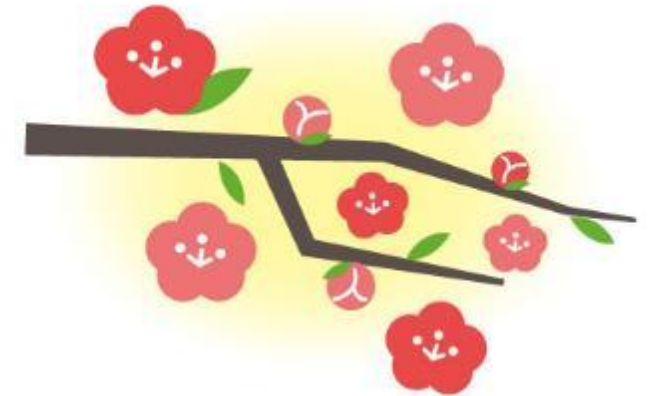


活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（2月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）

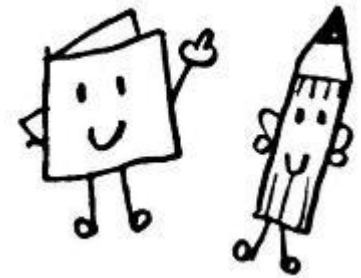


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2022年5月更新）⇒6年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



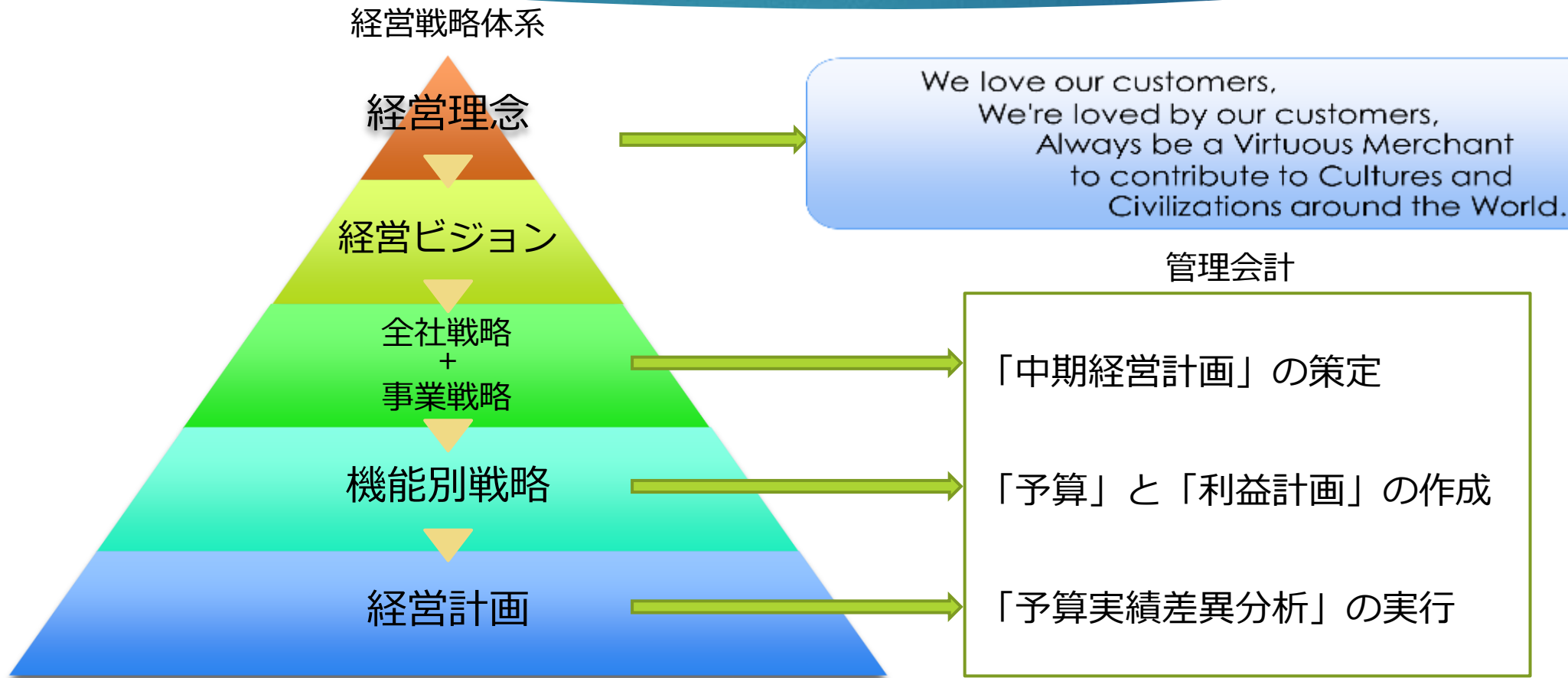
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

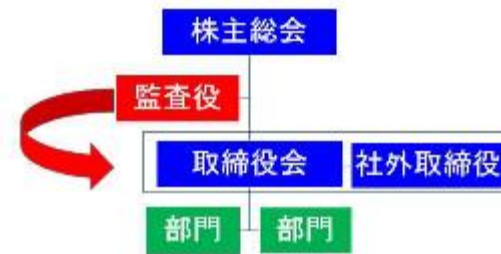
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

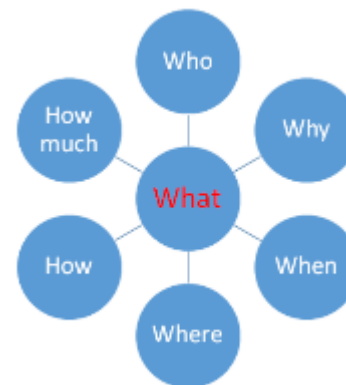


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



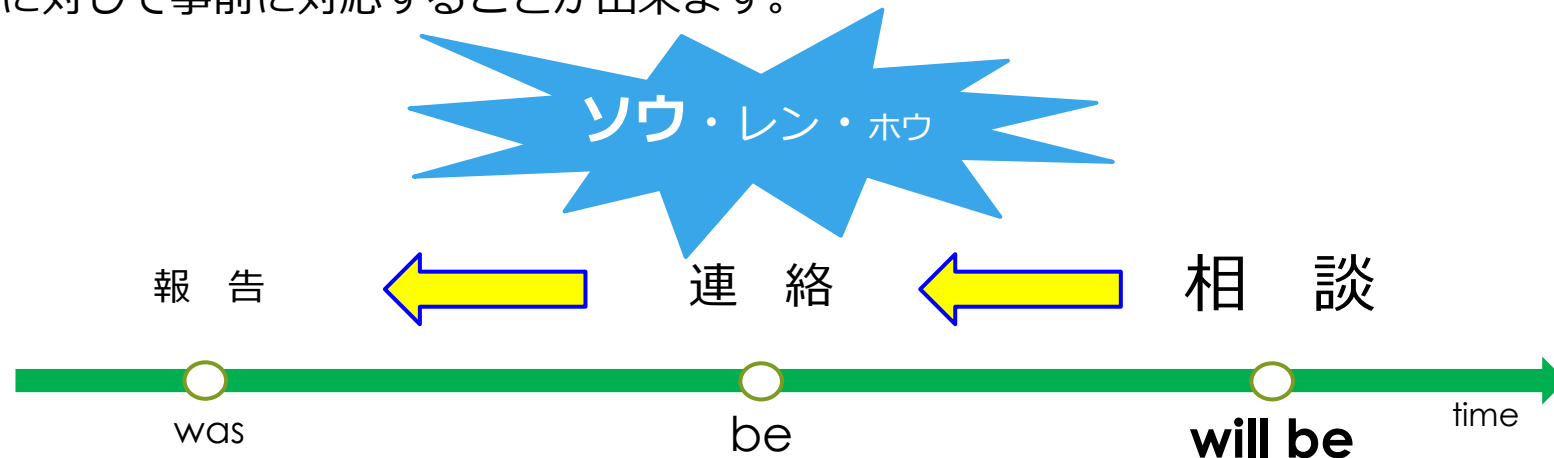
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

花粉の飛び交う季節になってまいりました。花粉症の私にとってはくしゃみ鼻水鼻詰まりと非常につらい季節です。今年は例年に比べ飛散量が多いそうで…。まだまだつらい時期は続きますが、無理せず付き合っていきたいと思います。